

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

特別支援員設置事業

事業の経過・背景・課題

本組合には1中学校があり、令和6年4月には215人が在籍している。その内、支援学級に19名と数多く在籍している。また、中学校で発生している問題事象のうち、7～8割は特性や支援学級在籍で支援の必要な生徒の事象となっている。

取組内容

交付実績額： 310 千円

生徒の状態に応じた支援員の配置を行うため、町（組合）特別支援委員会を含めて検討し、必要最低限の特別支援員を配置している。

※中学校に7名の支援員を配置



事業の成果・今後の展望等

特別支援員の配置により、個々の認知特性や教育的ニーズを的確に把握し、「個別最適化した学び方」や「指導の個別化」を進めることができた。引き続き、学級満足度調査（※）を活用した制度の高いアセスメントを基にした支援を行うことで、誰もが安心して学べる学級経営と、すべての生徒が「できる実感」がもてるユニバーサルデザイン化された授業づくりに努める。

(※) 学級満足度調査 (Q-U)

早稲田大学の教授が開発された心理テスト。各児童生徒の意欲や満足度、学級集団の状態を検査することができるもので、教師の考えている現状と実態のズレを把握することや、不登校・いじめ被害も早期発見することができる。

この結果を基に、教師はこれまでの指導を見直し、問題解決に向けて学級経営や授業改善を行っている。与謝野町宮津市中学校組合では、全生徒を対象に年2回実施。また、その結果を基に、学級満足度調査活用推進委員会を年に4回開催。その中で研修（講義・演習）を行い、本調査をしっかりと活用することができるよう努めている。

問い合わせ先

与謝野町宮津市中学校組合学校教育課 (0772-43-9025)

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名**教育相談事業****事業の経過・背景・課題**

本組合の中学校においては、保健室・別室登校をする生徒、また登校することが困難で教育支援センターに通所する生徒が増加傾向にあり、生徒一人一人に応じたきめ細かい支援を行う必要がある。そういった支援を行う上で1番大事な「みたて（支援方法）」については、専門家による判断が必要となる。

取組内容

交付実績額： - 千円 ※セット新規

(※) 本交付金を活用することで生じる余剰財源の1/2程度の額により
教育環境の充実に資する事業を新たに実施・拡充

- 専門家（ドクター）が中学校を巡回し、生徒一人一人の特性や様々な背景を考慮し、個々に応じた適切な支援方法の確認と指導を行う。

〔実施スケジュール〕

・橋立中学校 6/14、11/15

**事業の成果・今後の展望等**

専門家による「みたて」に基づき、生徒一人一人のニーズや状況に応じた適切な支援を行うことができた。
引き続き個に応じた支援を行っていくとともに、専門家による的確な指導を受けながら関係機関と連携し、全ての生徒の「学びの保障」に取り組む。

問い合わせ先

与謝野町宮津市中学校組合学校教育課 (0772-43-9025)

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

採点支援システム導入事業

事業の経過・背景・課題

社会の急激な変化が進む中、学校においては学習指導のみならず、学校が抱える課題は、より複雑化・困難化し、長時間労働が常態化している。このため、業務を見直すことで教員が生徒と向き合う時間を確保し、教育活動を充実させる必要がある。

取組内容

交付実績額： - 千円 ※セット新規

(※) 本交付金を活用することで生じる余剰財源の1/2程度の額により
教育環境の充実に資する事業を新たに実施・拡充

テストの解答欄を設定し、模範解答を登録するだけで、ワンクリックで採点・分析することのできる採点システムを中学校に導入した。



事業の成果・今後の展望等

- ・システムの導入により、「どこが理解できていない、どこが間違っているか」といった全体を通した把握ができるから、業務時間の削減だけでなく、生徒一人一人に応じた個別最適学習を行うことで学力向上に繋げることができた。
- ・今後においても、業務を見直しすることで働き方改革をすすめ、生徒と向き合う時間を確保し、教育活動を充実させる必要がある。

問い合わせ先

与謝野町宮津市中学校組合学校教育課 (0772-43-9025)